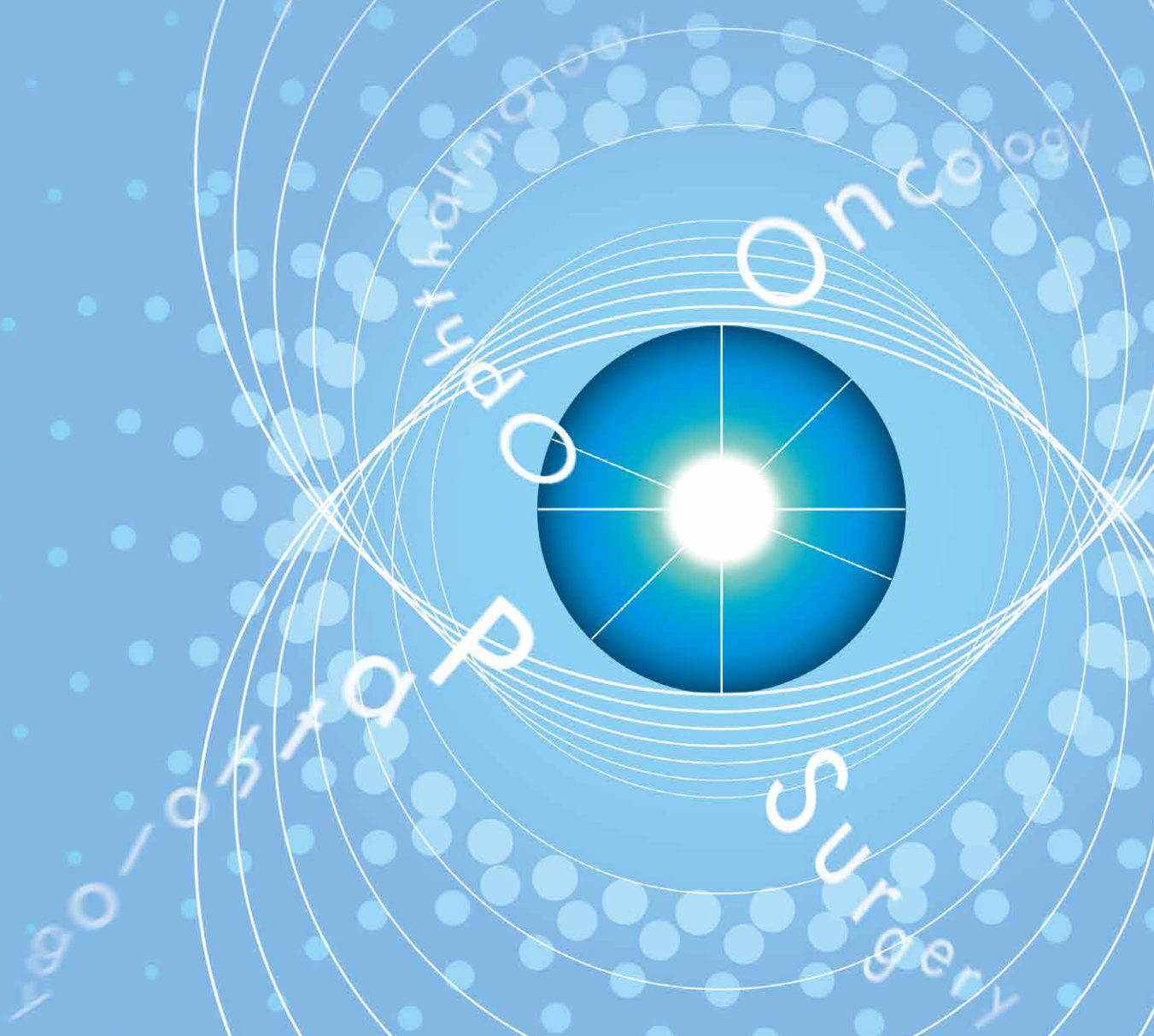


# 日本眼腫瘍学会誌

Journal of  
Japanese Society of Ocular Oncology Vol.12 2023  
September



# 日本眼腫瘍学会誌

Journal of  
Japanese Society of Ocular Oncology

Vol. 12 2023

September

---



# 目 次

---

弔 辞	嘉鳥 信忠	1
-----	-------	---

---

## 原 著 論 文

結膜悪性黒色腫における fluorescence <i>in situ</i> hybridization による 3番染色体の解析	白井 嘉彦 ほか	2
硝子体術後に診断された脈絡膜悪性黒色腫に対し 炭素イオン線治療を施行するも 局所制御が困難であった2例	山野邊麻里 ほか	7

---

## 第39回日本眼腫瘍学会 記録集

第39回日本眼腫瘍学会を終えて	鈴木 茂伸	13
第39回日本眼腫瘍学会 プログラム		15

---

## 第39回日本眼腫瘍学会 学会印象記

特別講演を拝聴して	鈴木 茂伸	23
シンポジウム	鈴木 茂伸	24
一般口演1 結膜・眼瞼1	小幡 博人・大湊 絢	26
一般口演2 眼瞼2	渡辺 彰英・柚木 達也	28
一般口演3 眼窩1	上田 幸典・敷島 敬悟	30
一般口演4 眼窩2	安積 淳・高村 浩	32
一般口演5 脈絡膜悪性黒色腫	溝田 淳・鈴木 茂伸	34
一般口演6 眼内1	高橋 寛二・辻 英貴	36
一般口演7 眼内2	林 暢紹・田邊 美香	38
一般口演8 付属器リンパ腫・リンパ増殖性疾患	高比良雅之・加瀬 論	40
一般口演9 遺伝子	白井 嘉彦・鈴木 茂伸	42

---

## 第127回日本眼科学会総会 学会印象記

悪性腫瘍のバイオマーカー～私の視点	秋山 雅人	44
-------------------	-------	----

---

## 学会記録集

日本眼腫瘍学会の歴史		48
役員一覧		49
会 則		50
入会案内		53
投稿規程		54
著作権譲渡同意書		55
タイトルページ作成要項		56

---

編 集 後 記	小幡 博人	57
---------	-------	----

## 弔 辞



故 上田 幸典 先生

## 上田 幸典 先生 ご略歴

2004年	京都府立医科大学 卒業
2006年	京都府立医科大学眼科 入局
2011年	聖隷浜松病院眼形成眼窩外科 医員
2012年	京都府立医科大学眼科 医員
2013年	京都府立医科大学眼科 病院助教
2014年	藤枝市立総合病院眼科 医長
2016年	聖隷浜松病院眼形成眼窩外科 主任医長
2021年	聖隷浜松病院眼形成眼窩外科 科長

## 弔 辞

「天才、眼形成眼窩外科医 上田幸典先生。」

僕が上田君を紹介するときに、いつも使っていたこのフレーズを言うと、あなたはニヒルな照れ笑いを浮かべながら、いつもちょっと嫌がっていましたね。

どんなに難しく面倒な手術に直面しても、愚痴することも、また上手く出来たことを自慢することもなく、淡々と、そして颯爽と難局を乗り越えていく、あなたの顕微鏡を覗く手術姿は、まさに「天才」の銘にふさわしく、素敵でした。

あなたは、誰にでも優しいので、柔和なのんびり屋さんと思われていますが、実は、人の何倍も努力するストイックな探求者であることを、僕は知っています。そして、誰よりも芯が強く、頑固なまでにこだわりを持っているからこそ、「努力」の結果を、「天才」という肩書きで片付けられるのは心外だったから、嫌がったことも、僕は知っています。

こういう打ち明け話をすると、あなたは、またニヒルな照れ笑いをしながら、嫌がっているかもしれませんが、上田先生、やっぱりあなたは、「天才」です。「誰にも出来ない努力をする天才」でした。

あなたと同じ道を歩んだ時間を、ともに描いた夢を、そしてニヒルな笑いの奥に光っている慈愛に満ちたあなたの強い心を、僕は一生忘れません。ありがとうございました。

「若き天才、上田幸典先生」今ここに、やすらかにお休みください。

2023年4月

聖隷浜松病院 眼形成眼窩外科  
顧問 嘉鳥 信忠

## 原著論文

## 結膜悪性黒色腫における fluorescence *in situ* hybridization による 3 番染色体の解析

○白井 嘉彦、坪田 欣也、後藤 浩

東京医科大学病院 臨床医学系 眼科学分野

### Analysis of chromosome 3 by fluorescence *in situ* hybridization in conjunctival malignant melanoma

○Yoshihiko Usui, Kinya Tsubota, Hiroshi Goto

Department of ophthalmology, Tokyo Medical University

#### 〈要 約〉

結膜悪性黒色腫における 3 番染色体について fluorescence *in situ* hybridization 法を用いて解析した。結膜悪性黒色腫では、ぶどう膜悪性黒色腫でみられるモノソミー 3 の異常がみられず、3 番染色体の様々な異常がみられた。

【目的】ぶどう膜悪性黒色腫では 3 番染色体の欠失がモノソミー 3 として生命予後に関連する重要な染色体異常として知られ、その発生や転移に関与していると考えられている。今回我々は、結膜悪性黒色腫における 3 番染色体について fluorescence *in situ* hybridization (FISH) 法を用いて解析したので報告する。

【対象と方法】2017 年から 2022 年に東京医科大学病院眼科を受診し、組織学的に結膜悪性黒色腫と診断された 16 症例 (男性 8 例、女性 8 例、平均年齢  $74.1 \pm 14.9$  歳) を対象とした。

生検組織から D3Z1 (chromosome 3 centromere probe, Oncor 社) の DNA プローブを用いて FISH 法を施行した。3 番染色体セントロメアのシグナル数を示す細胞の分画が 15% 以上の組織を染色体異常として判断した。

【結果】結膜悪性黒色腫 16 例中 8 例 (50.0%) に 3 番染色体の異常がみられた。その内訳としてトリソミー 3 例 (18.8%)、テトラソミー 4 例 (25.0%)、ヘキサソミーが 1 例 (6.3%) にみられた。

【結論】結膜悪性黒色腫ではぶどう膜悪性黒色腫でみられるモノソミー 3 の異常がみられず、3 番染色体の様々な数的異常がみられた。結膜悪性黒色腫とぶどう膜悪性黒色腫は組織学的には同じ悪性黒色腫でありながら、病態形成に関わる遺伝子異常が異なる可能性がある。

Key word : 結膜悪性黒色腫、3 番染色体、FISH 法、モノソミー 3

Conjunctival malignant melanoma, Chromosome 3, fluorescence *in situ* hybridization (FISH),  
Monosomy 3

#### 一 緒 言

結膜に発生する悪性黒色腫は視機能のみならず生命予後を脅かす疾患であり、非常に稀な疾患であるため、本邦における多数例を対象とした報告も限られている<sup>1-3)</sup>。

従来からぶどう膜悪性黒色腫では 3 番染色体の欠失がモノソミー 3 として生命予後に関連する重要な染色体異常として知られ、その発生や転移に関与していると考えられている<sup>4,5)</sup>。3 番染色体には、多くの癌抑制遺伝子や transforming growth factor- $\beta$  (TGF- $\beta$ )



を代表とする癌の増殖に関わる遺伝子領域があるため、腎癌、肺癌、膀胱癌や卵巣癌においても高頻度に欠失していることが報告されている<sup>6)</sup>。一方、結膜悪性黒色腫における3番染色体の異常を検討した報告は少ない<sup>7,8)</sup>。

そこで今回我々は、結膜悪性黒色腫を対象に3番染色体について fluorescence *in situ* hybridization (FISH)法を用いて解析したので報告する。

## ＝ 対象と方法

対象は2017年から2022年までに東京医科大学病院眼科で組織学的に結膜悪性黒色腫と診断された16症例(男性8例、女性8例、平均年齢74.1 ± 14.9歳)を対象として診療録を基に後ろ向きに検討した。全例日本人症例で、平均観察期間36.6 ± 21.5か月(14-78か月)であった。

手術時に得られた結膜悪性黒色腫の未固定組織からD3Z1(chromosome 3 centromere probe, Oncor社)のDNAプローブを用いてFISH法を施行した(SRL社、東京)。3番染色体セントロメアのシグナル数を示す細胞の分画が15%以上の組織を染色体異常と判断した。

本研究は東京医科大学における生命倫理委員会で審議を行い、後ろ向き研究として承認番号SH3281で承認を受けた。同意書にサインによる同意を得た。

## ＝ 結 果

結膜悪性黒色腫16例中8例(50.0%)に3番染色体の異常がみられた。その内訳としてトリソミー3例(18.8%, 平均異常細胞割合67.3%)、テトラソミー4例(25.0%, 平均異常細胞割合47.8%)、ヘキサソミーが1例(6.3%, 異常細胞割合62%)にみられた。FISH法において3番染色体の異常がみられなかった症例(ダイソミー)のうち、1例(症例8)は眼窩内容除去後3年2か月後に頸部(咽頭)転移を生じた(ダイソミー, 図1)。16例中、3番染色体の欠失(モノソミー3)みられた症例は存在しなかったが、3番染色体の増幅(トリソミー3)は3例(18.8%)にみられ、そのうち1例(症例11)では治療後に局所再発はみられなかったものの、1年後に頸部と肺に転移を生じた(トリソミー, 図2)。3番染色体が4つみられるテトラソミーを生じた症例(テトラソミー, 図3)と6つみられるヘキサソミーを生じた症例(ヘキサソミー, 図4)では、経過観察中に全身転移を生じた症例はなかった。

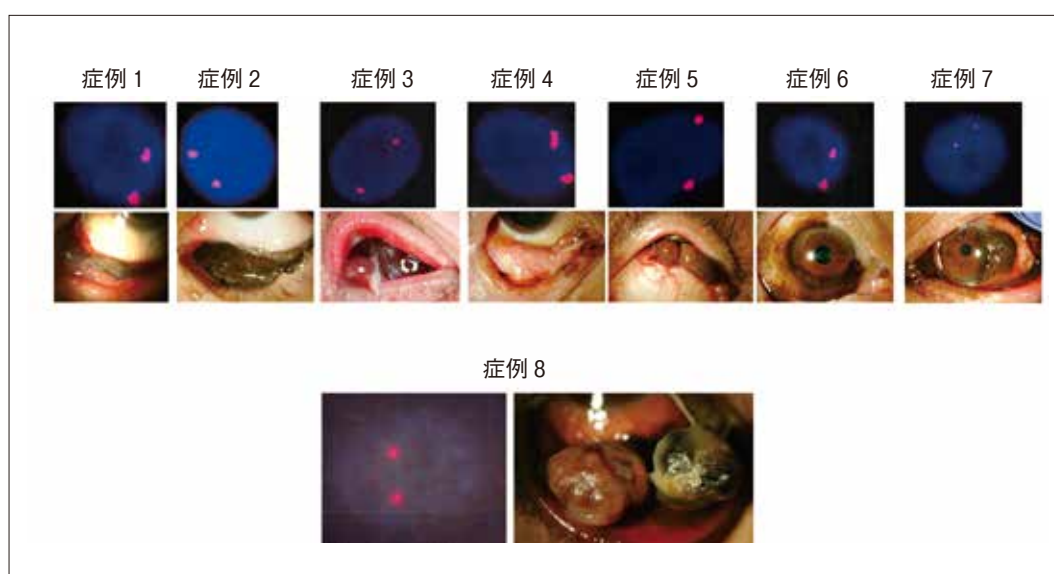


図1 3番染色体(ダイソミー)と前眼部所見

症例1から症例8まで、いずれも3番染色体の増幅や欠失がみられない。症例8は眼窩内容除去術を施行したが、3年2か月後に頸部(咽頭)転移を生じた。

## 第40回日本眼腫瘍学会のご案内

会 期：2023(令和5)年9月23日(土)～24日(日)

会 場：なんばスカイオコンベンションホール

会 長：高橋 寛二(関西医科大学 眼科学教室)

## 第41回日本眼腫瘍学会のご案内

会 期：2024(令和6)年9月28日(土)～29日(日)

会 場：京王プラザホテル東京

会 長：後藤 浩(東京医科大学 臨床医学系眼科学分野)

## 日本眼腫瘍学会誌

発 行 日：2023年9月1日

発 行 行：日本眼腫瘍学会

発 行 人：理事長 古田 実

事 務 局：スタッフルームタケムラ有限公司

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-4-7

TEL：03-5287-3801 FAX：03-5287-3802

編集責任者：小幡 博人

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<https://secand.jp/>